

続け、疼痛研究の成果を世界へ発信！

古江 秀昌（兵庫医科大学・医学部・生理学 神経生理部門）

私が野口光一先生にはじめてお会いしたのは、学会会場であったかと思います。印象的だったのは私が佐賀医科大学や九州大学の生理学に在籍時に、北米神経科学学会に参加していた時です。驚きだったのは野口先生の演題の多さでした。2万5千から3万人を超える神経科学者が集い、途轍もなく広く、同じラボのメンバーでも待ち合わせをしなければ会うこともできないほどのコンベンションセンターの巨大な会場にも拘わらず、私は数多くの野口先生のポスターを拝見させて頂きました。当時、クリントン大統領が2001年より10年間をDecade of Brainに続き、The Decade of Pain Control and Researchとすることをアメリカ議会で採択・宣言した時期でもあり、痛み分野の数多くの演題が発表されていました。そのような中でも野口先生の演題は、ほぼ毎日のように掲示されるほど演題数が多く、また、筆頭著者は現在スタッフとしてご活躍されている先生方など、蒼々たるメンバーでした。ポスターの前には多くの海外の研究者が集まり、熱心にメモを取って聞き入っていた様子を今でも鮮明に思い出します。当時の国際学会の様子からも野口先生が、如何に世界中の研究者が興味を抱く疼痛研究を進められ、数多くの論文報告もなされ、素晴らしい成果を世界へ発信されていたことがわかります（写真1）。そのような成果を発信する姿勢や機会は、研究者を目指す若い先生にとりましても貴重な礎となるものと考えます。その後、私が自然科学研究機構 生理学研究所に在籍している時には、会長として学会を主催されるなど国内外の疼痛研究を推進なされ、2013年12月の運動疼痛学会では、ランチョンセミナーでの講演の機会を頂き、大会長である野口先生から感謝状を頂きました。私にとって、疼痛研究の成果を発信することが出来た貴重な機会となりました。これからも多くの研究成果を発信すべく、私を鼓舞するものとしてその感謝状は本学教育研究棟の私のデスクから見えるところに置かせて頂いております。

昨今はコロナの影響もあり学会での成果発信の機会が少なくなっていますが、逆境を跳ね返すがごとく、野口先生が初代理事長としてお導き頂いた日本疼痛学会は、本年より学会誌であるPain Research誌を完全英文化し、Open Access Journalとなります（写真2）！即ち、掲載される論文は、オンライン上で無料、且つ制約無しで閲覧可能となります。Pain Research誌は、1973年から発刊され（当初数年は研究会の記録）、当初から和文のみならず、英文の論文も掲載されてきました。例えば、1991年の6巻1号では、10報中7報、なんと半数以上が英語論文で、疼痛研究を世界へ発信する気運が当時から高かったのではと改めて感銘を受けます。また、学会発足時の山村秀夫先生のお言葉に、当初行われていた招待講演のお話を拝聴するのみでは面白みが少なく、基礎と臨床の会員が自ら主役となって成果を発表し、討論することが非常に意味のあることから、学会での演題発表が始まった旨が述べられています。現在、Open Accessに向けた皆さんの準備がございますが、現理事長の牛田享宏先生を始め多くの方々のお力添えで投稿サイトの開設ができそうです。野口先生の祝賀会の頃には無事投稿から論文の編集に至るまで完成していることと思います。私は微力ながら編集委員長として疼痛研究成果の発信に尽力する所存です。野口先生がリードなされてきた疼痛研究を、更に継続・発展させるべく、新規Open Access JournalとなるPain Research誌に、是非とも“主役”となって、皆様の研究成果をご掲載頂いて成果を世界へ発信して頂きたく、数多くのご投稿をお願い申し上げる次第です。

最後になりましたが、野口先生には、疼痛研究のみならず多くのことでご機会・ご指導を賜り、また多大なご支援を下さったこと、誠に感謝申し上げます。今後ともご指導を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

Presentation		Session
☐	Sat. Nov 15, 3:00 - 4:00 PM 69.7/KK3 - Laminar-specific distribution of Nav mRNAs in the rat spinal cord	Poster 69. Pain: Spinal Cord Anatomy Sat. Nov 15, 1:00 - 5:00 PM
☐	Sun. Nov 16, 9:00 - 10:00 AM 172.10/MM11 - Sensitization of P2X₃ in primary afferent by PAR-2 through PKC/PKA pathways contributes to inflammatory pain	Poster 172. Inflammatory Pain I Sun. Nov 16, 8:00 AM - 12:00 PM
☐	Sun. Nov 16, 9:00 - 10:00 AM 173.14/MM30 - TRPA1 mediates gastric distension-induced visceral pain in rats	Poster 173. Pain: Visceral Pain I Sun. Nov 16, 8:00 AM - 12:00 PM
☐	Mon. Nov 17, 11:00 AM - 12:00 PM 368.4/UJ29 - Induction of annexin A2 in rat dorsal root ganglia and spinal cord following peripheral nerve injury	Poster 368. Neuropathic Pain Mechanisms: Signaling Pathways and Models Mon. Nov 17, 8:00 AM - 12:00 PM
☐	Mon. Nov 17, 2:00 - 3:00 PM 467.14/LL6 - IL-18-mediated microglia/astrocyte interaction in the spinal cord enhances neuropathic pain processing after nerve injury	Poster 467. Neuropathic Pain Mechanisms: Glia and Inflammatory Mediators Mon. Nov 17, 1:00 - 5:00 PM
☐	Tue. Nov 18, 8:00 - 9:00 AM 569.17/LL17 - Induction of P2Y receptors in the spinal cord following peripheral nerve injury	Poster 569. Neuropathic Pain Mechanisms: Neurotrophins and Neuromodulators Tue. Nov 18, 8:00 AM - 12:00 PM
☐	Tue. Nov 18, 9:00 - 10:00 AM 569.18/LL18 - Upregulation of leukotriene synthesis in glial cells contributes to neuropathic pain following peripheral nerve injury	Poster 569. Neuropathic Pain Mechanisms: Neurotrophins and Neuromodulators Tue. Nov 18, 8:00 AM - 12:00 PM



写真1. 右は2008年ワシントンDCで開催された北米神経科学学会での野口先生の演題、なんと7演題！サンディエゴやシカゴでも、毎年多くのご発表をなされていました。上は私（奥でパソコンを操作している）がシカゴで参加した時。恒例だった夜のディスカッションの様子。左手前から3人目が中塚先生、4人目が園畑先生。

PAIN RESEARCH

Home Main Menu Submit a Manuscript About Help

Important Message: Site under development. Do not use for live manuscript submission.

Article Type Selection Attach Files General Information Review Preferences Additional Information Comments Manuscript Data

Required For Submission:

- ☒ Cover letter
- ☒ Manuscript

Please provide any additional items.

Select Item Type: *Cover letter

Description: Cover letter

Browse... OR Drag & Drop Files Here

The order in which the attached items appear in the list will be the order in which they appear in the PDF file that is produced. You can re-order the items manually if necessary.

Change Item Type of all: [Choose] files to: [Choose] [Change Now] [Check All] [Clear All]

Order	Item	Description	File Name	Size	Last Modified	Actions	Select
1	*Cover letter		renamed_d6a09.docx	338.8 KB	2023-03-01 21:14:55	Download	☐
2	*Manuscript	Cover letter	Pain Res Manuscript.docx	338.8 KB	2023-03-01 21:16:25	Download	☐

[Update File Order] [Remove] [Check All] [Clear All]

[Back] [Proceed]

写真2. Pain Research の投稿画面と Article の種類。Editorial Manager の投稿サイトに開設し、投稿から査読・編集作業まで新規に整備されます。Article には、Research Reports, Technical Reports, Short Communications に加え、Case Reports や 1 or 2 個の図で、学生でも投稿しやすい Micro Reports、Reviews もあります。ちなみに掲載費は廉価で 6—15 万円にさせて頂いております。会員用の掲載費もあります。Pain Research 誌の主役となって研究成果や総説を是非発信してください。

3. Article types

Article type	Word count ¹ (printed page)	Article Processing Charge ²		
		JASP members	non-members	
Research Reports	4,000 (8 printed pages)	¥ 100,000 JPY (² \$ 770 USD)	¥ 150,000 JPY (² \$ 1,150 USD)	Abstract (and Meth words); nc
Technical Reports	4,000 (8 printed pages)	¥ 100,000 JPY (² \$ 770 USD)	¥ 150,000 JPY (² \$ 1,150 USD)	Abstract (and Meth words); nc
Short Communications	1,500 (3 printed pages)	¥ 100,000 JPY (² \$ 770 USD)	¥ 150,000 JPY (² \$ 1,150 USD)	Abstract (required in Tables)
Case Reports	1,500 (3 printed pages)	¥ 60,000 JPY (² \$ 460 USD)	¥ 100,000 JPY (² \$ 770 USD)	Abstract (required in Tables)
Micro Reports	1,000 (2 printed pages)	¥ 60,000 JPY (² \$ 460 USD)	¥ 100,000 JPY (² \$ 770 USD)	Abstract (required in Table)
Reviews	8,000 (20 printed pages)	¥ 100,000 JPY (² \$ 770 USD)	¥ 150,000 JPY (² \$ 1,150 USD)	Abstract (required in Table)
Mini-Reviews	4,000 (10 printed pages)	—	—	Abstract (required in Table)